

洗濯物の確認

(対象:ドラム式洗濯乾燥機 洗濯容量7kg以下)

洗濯・乾燥できないもの

✕ 洗濯も乾燥もできないもの

右の取扱い表示が付いているもの、また取扱い表示・組成表示がないものや、以下のものは洗濯・乾燥できません。



水洗いはできない



石油系の溶剤で
ドライクリーニングできる

- 芯地が多く、
形くずれ
しやすいもの



例 ネクタイ・ブレザー・
ジャケット・コート・
スーツなど

- 皮革製品・
皮革装飾を
ほどこしたもの



- 毛倒れを起こす起毛製品

例 ベルベット・別珍など

- 色落ちしやすいもの

- 和服、和装小物など

- 著しい収縮や変色、表面変化
を起こすおそれのある素材

例 レーヨン・キュプラ・絹
および混紡品など

- 表面の凹凸などが
消えやすいもの

例 防シワ加工品・
エンボス加工品など

- 形くずれや表面変化を
起こすおそれのある生地

例 強撚糸使用の生地・
ジョーゼット・クレープ・
ちりめんなど

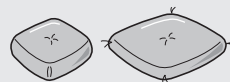
- ウレタン(スポンジ類)の
入ったもの

- 防水性のもの



- カーペット・水を通さない
カーペットカバーやマット
類(裏にゴムなどが付いて
いるもの)

- 座ぶとん・クッション・枕
など



- 固い芯材が入ったもの

例 固い芯材が入った
洗濯ネット・
ツバのある帽子
など



✕ 乾燥できないもの

右の取扱い表示が付いているもの、
また以下のものは乾燥できません。



ドライクリーニングできる



つり干しがよい



タンブラー乾燥はおさげください



日陰の
平干しがよい

- 油や溶剤が付着したもの

例 食用油・動植物系油・機械油・灯油・
ガソリン・美容オイル(ボディオイル・
エステ系のオイルなど)・軟膏・
ベンジン・シンナー・アルコール・
ドライクリーニング油など



【油の酸化熱による自然発火や引火の原因】

- 発泡ウレタン(スポンジ類)、ポリプロピレン
繊維、樹脂(セルロース系)、手芸用ボンド
などを使ったもの

【油の酸化熱による自然発火や引火の原因】

- ペットの毛がついたもの

【乾燥経路に毛が溜まり、故障の原因】

- 皮革製のパッチの付いたジーンズなど
(パッチ部分が熱で傷むことがあります)

- 装飾品を使用したもの
(衣類が傷むことがあります)

- のりづけしたもの
(ドラム内がのりで汚れることがあります)

- プリントの付いたものは熱で傷むことが
あります。

洗濯物の準備

確認しましょう

- 取扱表示を確認。
- しみや部分汚れはあらかじめ処理。（繊維の種類やしみの内容に応じた方法で）
- 初めて洗う衣類は、色落ちや色移りを確認。（色落ちするものは、分けて洗う）



取扱表示 例



本体や衣類の傷付きを防ぐために

- ひもは結び、ファスナーは閉じる。
金属製のボタンや装飾品の付いたものは、裏返しにするかネットに入れる。
- 毛玉や糸くず、毛羽立ちが気になる衣類は、裏返しにする。
- 硬貨・ヘアピン・カーテン金具などの金属片などは、必ず取り除く。
- 砂や泥、ペットの毛などはあらかじめ落とす。
- 色落ちするものは分けて洗う。
- 綿の衣類やタオルばかりを入れるとドラム内に衣類がはりつきやすくなるため、化繊の衣類と一緒に洗う。



● 以下の衣類は、種類別に分けて洗濯ネットに入れる。

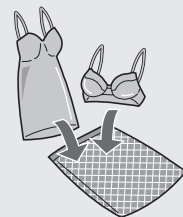
デリケートな衣類・小物(靴下やハンカチなど)・軽やかさばる衣類(フリース素材など)

【運転中に衣類が飛び出して、衣類や製品を傷める原因】

- 入れる量は少なめに。1つの洗濯ネットにまとめて入れずに小分けして入れる。

【洗い・すすぎ・脱水性能の低下や脱水中の片寄り、飛び出しの原因】

固い芯材が入った洗濯ネットは、破れたときに芯材で衣類を傷めるおそれがあるため、市販のドラム式専用洗濯ネットのご使用をおすすめします。



● 洗濯物はドラムの奥に入れる。

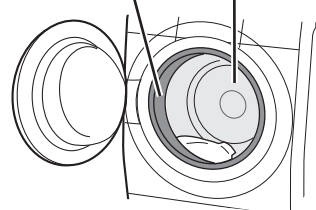
- 洗濯物がドラムからはみ出ていると、ドアとドアパッキンの間に洗濯物をはさまるおそれがあります。
【衣類の破れ、ドアパッキンが破損して水漏れの原因】
- 特に軽い衣類は運転中にドア側へ移動しやすいため、ドラムの奥に入れてください。

● 吸水すると重くなる衣類(ジーンズやトレーナーなど)は1枚だけで洗わず、他の衣類と一緒に洗う。

【脱水中に衣類が片寄り、振動や異音の原因】

- バスタオルなど1~3枚をいっしょに入れると片寄りにくくなります。

ドアパッキン (グレー) ドラム (金属部)



洗濯物はドラムの中に入れる
(ドアパッキンまで、はみ出さない)



注意

漏電やけがを防ぎ家財などを守るために

洗濯物・本体・周囲の壁などの損壊を防ぐために



● 防水性の衣類やシートは洗濯・脱水・乾燥しない

- レインコート・サウナスーツ・ウインドブレーカー・スキーウェア・
ダウンジャケット・理美容用クロス・オムツカバー・自転車、自動車などのカバー・
寝袋・防水シート・防水エプロン など



(水が抜けなため脱水中に異常振動を起こし、本体の転倒・損傷でけがをしたり、衣類や床・壁などの損壊、水漏れ被害などの原因)

● カーペット・水を通さないカーペットカバーやマット類(裏にゴムなどが付いているものは、洗濯・脱水・乾燥しない)

● 毛布洗いネットを使用しない

(脱水中に異常振動を起こし、周囲の壁などの損壊やけがの原因)

● 用途外には、使用しない

洗濯機本来の用途以外のものを洗ったり、脱水、乾燥しない。
(異常振動を起こし本体損壊やけがの原因)

※衣類の取扱い表示をご確認ください。

※異常振動が起こった場合、安全装置がはたらきますが、槽が高速で回転しているときはすぐに止まりませんのでご注意ください。